

姫路西ロータークラブ

2023.12.06

『遺跡発掘調査』



matsuura株式会社
統括部長 浦岡正裕

CONTENTS

- 自己紹介
- 事業内容
- 遺跡発掘調査とは
- どんなことしてるの？
- Matsuuraの技術
- 土地の購入の際は・・・
- 施工事例
- まとめ

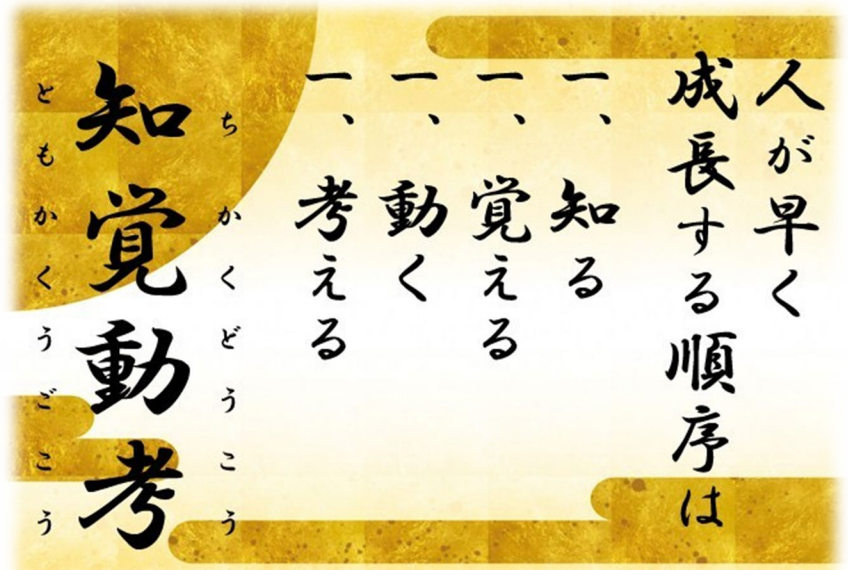
=自己紹介=

1975年9月生まれ 現在48才 乙女座

KKKD (好奇心旺盛、感、経験、どんぶり)

七転八起

知覚動考 (ともかくうごこう)



= ストレングスファインダー =

①最上志向

②着想

③適応性

④親密性

⑤アレンジ

CliftonStrengths®

正橋 浦岡 | 11-21-2021

あなたのクリフトンストレングス34の結果

あなたには唯一無二の力があります。独自のクリフトンストレングス34プロフィールが、他者と全く異なるあなたの姿を特定します。これがあなたの才能のDNAです。テスト回答を基に順位付けされています。

本レポートを使用して、上位資質を最大限に活用し、残りの資質を確認し、可能性を最大限に引き出しましょう：

- 結果を読んで振り返り、あなたが自然に行っている得意な行動を理解する。
- 最も高いクリフトンストレングスを日々活かす方法を学ぶ。
- 結果を他者と共有し、強固な人間関係を構築し、チームワークを深める。



強化する

1. 最上志向
2. 着想
3. 適応性
4. 親密性
5. アレンジ
6. ポジティブ
7. コミュニケーション
8. 活発性
9. 戦略性
10. 分析思考

確認する

11. 包含
12. 成長促進
13. 自己確信
14. 自我
15. 社交性
16. 共感性
17. 個別化
18. 責任感
19. 未来志向
20. 運命思考
21. 指令性
22. 信念
23. 原点思考
24. 目標志向
25. 達成欲
26. 調和性
27. 学習欲
28. 回復志向
29. 内省
30. 競争性
31. 公平性
32. 収集心
33. 規律性
34. 慎重さ

あなたは、クリフトンストレングスの資質「影響力」に強みがあります。

■ 「実行力」は、物事を成し遂げるのに役立つ資質です。

■ 「影響力」は、主導権を握り、はっきりと意見を表明し、確実に他の人の耳を傾けさせるのに役立つ資質です。

■ 「人間関係構築力」は、チームを団結させる強力な人間関係を構築するのに役立つ資質です。

■ 「戦略的思考力」は、情報を取り入れ、分析し、より適切な判断を下すのに役立つ資質です。

「あなた独自の資質を特定する：クリフトンストレングスの領域」セクションをお読みください：[詳細](#)

= I S D 個性心理学 =

全ての人必ず持っている生年月日に着目し人の個性を研究してきた統計学であり分類学です

あなたの動物キャラは・・・

落ち着きのないサル
 社交的で親分肌
 相手の気持ちを察知し出方を変える
 駆け引きが得意！



落ち着きのない猿

社交的で親分肌、相手の気持ちを察知し出方を変える駆け引きが得意です。秩序や上下関係を重んじ正統派の世渡り上手で多少そっかしい面もあるが理解が早く頭が良い人。滅多に本音を出さず、初志貫徹する意志は顔に出さないが結論を出すのに時間がかかるので、優柔不断と思われがち。殆ど苦勞せず人生を送れます。

猿グループ

共通性格

- 👉 落ち着きがない
- 👉 手先が器用
- 👉 堅苦しい雰囲気苦手
- 👉 ほめられたいために頑張る
- 👉 何事も短期決戦
- 👉 勝ち負けにこだわる
- 👉 細かく指示されないとダメ

心理ベクトル 未来展望型	行動パターン 目標指向型	思考パターン 左脳型
---------------------	---------------------	-------------------

- 社名：matsuura株式会社
- 代表者：代表取締役 松浦佳世
- 所在地：兵庫県姫路市四郷町東阿保
- 設立：1991年
- 資本金：2000万円
- 事業内容
 - 遺跡発掘
 - 測量
 - 土木建設



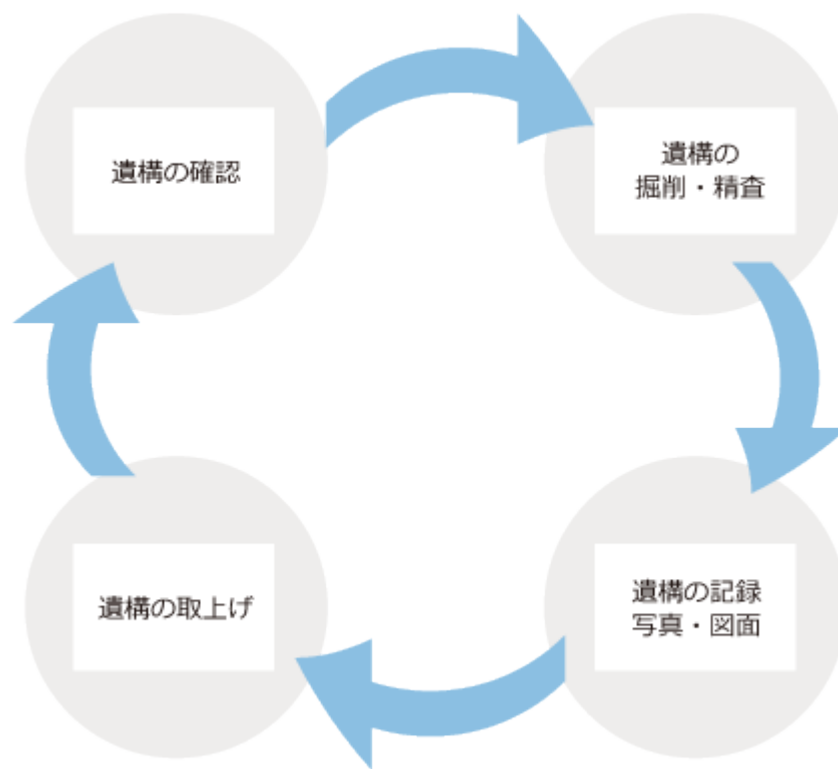
- 社員数：全30名
(正社員28名 パート2名)
- 調査班 (20名)
- 測量班 (8名)
- 事務 (2名)

事業内容 = 遺跡発掘調査 =

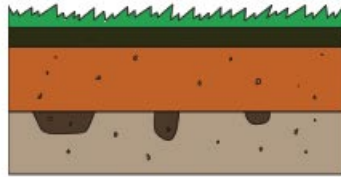


埋蔵文化財とは？

- 埋蔵文化財とは、土地に埋蔵されている文化財（主に遺跡といわれている場所）のことです。
- 埋蔵文化財は「遺跡」「遺構」「遺物」をさし、地中の文化財とも言われています。
- なぜそこが「遺跡」だとわかるの？
地表に土器片などがあることで、埋まっている可能性が出てくるからです。土には色や質の変わる境目がありそこをきれいに掘り抜くと「遺構」と呼ばれる昔の建物や川などの形が浮かび上がってきます。



発掘調査の流れ



1.着工前、草を刈って
表土を剥ぎます。



2.上のほうの土は
荒れているので、
ある程度の高さまで
重機で掘っていきます。



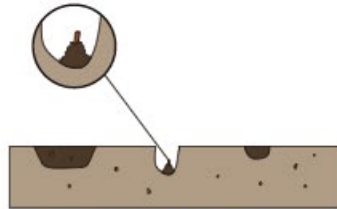
3.ある程度重機で掘ったら
遺構があるであろう層まで
土の色を見ながら
人力で掘っていきます。



4.遺構面検出完了



5.学芸員が引いた
遺構のラインの中を
掘って行きます。



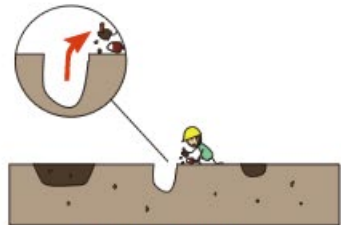
6.土器が出土したら、
土器の表面を
出して行きます。



7.土層断面、遺構、
土器、全景等
様々な記録写真を
撮影していきます。



8.写真とあわせて
図面や高さも
記録を取っていきます。



9.撮影、測量後、
取り上げます。



10.完掘。

表土を削る

調査したい目的の層を出すために、誘導員の指示の元ある程度の深さまで重機で掘ります。

重機で掘る段階から平らに掘るように気を付けます。

重機で平らに掘るのは難しく、微妙な操作感覚が求められます。
そして、掘削を誘導する手元作業指示者の指示も重要になってきます。

重機に乗った人が一人で掘っているように見える作業も実は誘導する作業員との連携が大切なのです。



遺構面検出

ここでも平らになるよう意識して掘り進めていきます。
目的の高さまで掘ったら「精査」します。

「精査」とは手ガリ（両手鎌）等で平らに削り出す事をいいます。
人力なので重機掘削の時よりも、より平らでムラの無いように仕上げます。機
械から人力に移行するにつれ、平らにする精度は上がっています。

精査が済んだら学芸員（行政担当者）が遺構（柱や住居の跡、穴、溝、川等の
痕跡）の有無をチェックし、スプレーや釘でラインを出します。



遺構を掘る

遺構が必ずライン通りになっているとは限らないので、土の色を見ながら慎重に掘ります。

柱、住居、お墓の跡、溝、川 等々… 現場には様々な種類の遺構が存在します。



ちなみに、小判がでてきたら・・・

撮影

鮮明な記録写真を残すため、撮影前には被写体を清掃します。

広い範囲の撮影は、足場を組み立てて、その上から撮影します。また現場状況に合わせて、高所作業車を使用し撮影することもあります。

発掘現場の全景は、ヘリコプター、ラジコンヘリ、ドローン等を飛ばして空撮を行います。

空撮は、時間が決まっているので清掃や片付けを時間内にしないといけません。



実測

- 平板→調査区全体の略図
 - 断面→壁やセクション
（土の堆積状況を調べるために残しておいた土）の図
 - 平面→遺構を上から見た状態の図
 - エレベーション→奥行まで描く、立体的な断面図
- など、様々な実測を行います。



室内作業



遺物洗浄

発掘中に見つかった遺物は、地面に埋まっていた為土や泥がたくさん付いています。

遺物には墨で書かれた文字や米粒の付着など、当時の様子を示す貴重な情報が隠れていることがあります。

手作業でひとつひとつ丁寧に洗浄しながら、小さな情報も見落とさないように作業を進めます。



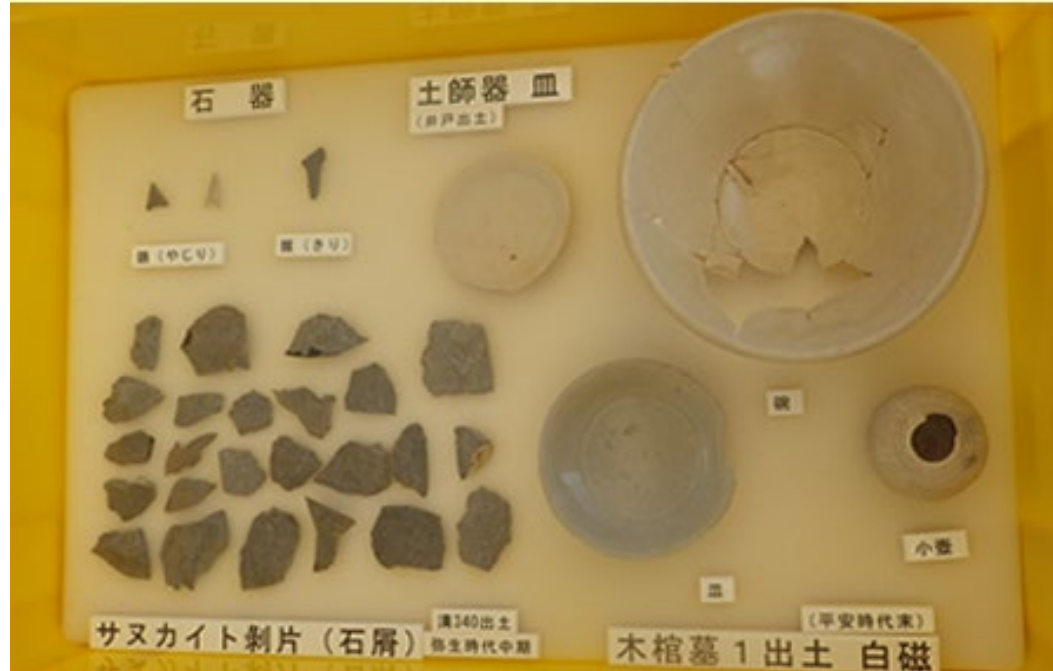
注記

洗浄によりきれいになった遺物を、ひとつひとつにどこから出土したのかの情報、注記マシンにより、正確かつスピーディに注記作業を行います。

注記マシンとは、パソコン入力した文字データを、専用のプリンターで遺物に出力するものです。

注記マシンを利用することにより、小さな破片も識別できます。

機械で対応できない遺物は手作業でおこないます。



遺物復元

遺物の多くは破片の状態で見つかります。

この破片の中から同じ個体と思われるものを探して接合していきます。

遺物の保存状態が悪いものや、接合する破片が不足した場合は、石膏などで補填をおこないます。

経験や根気がいる作業ですが、この段階での努力が、貴重な資料の復元につながるため、非常に重要な工程です。



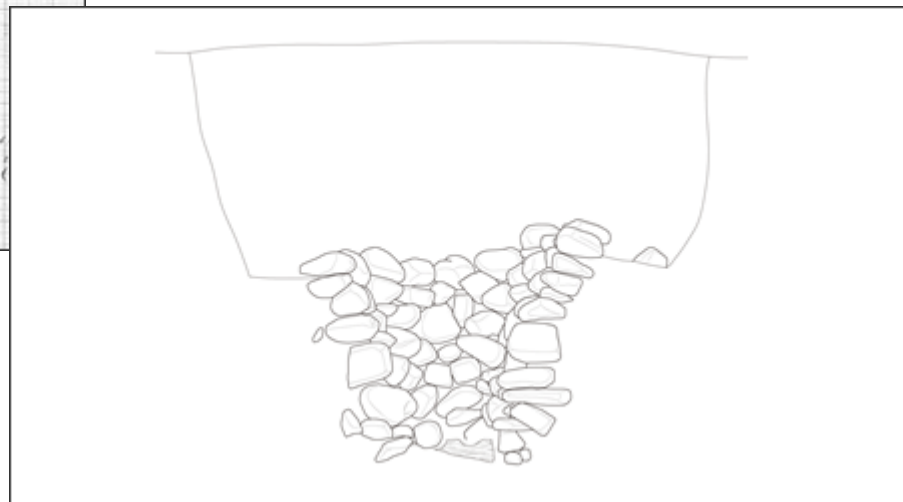
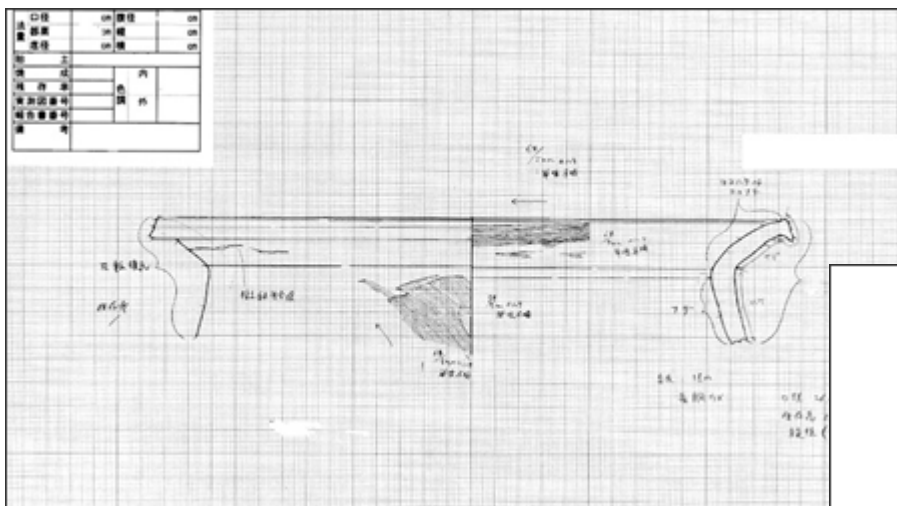
遺物実測・デジタルトレース

復元した遺物は、図面を作成するために計測します。

この作業は、図面上に遺物を再現するだけでなく、遺物がどのように作られたか、どのような種類のものかが分かるような図にしなければなりません。

遺物の特徴を見極め、正確な図化をおこなう熟練度が必要な作業です。

出来上がった実測図を元に幅広い利用が可能なデジタルデータのトレース図を作成します。



測量 = matsuuraの測量技術

国土交通省は建設現場の生産性向上に向けて、測量・設計から、施工、さらに管理にいたる全プロセスにおいて、情報化を前提とした新基準「i-Construction」を2016年度より導入すると表明しました。matsuura株式会社では、「i-Construction」の基準に対応した測量を行っております。



測量の流れ = matsuuraの測量技術

例) 土量管理の場合

空撮はドローンや専用ポール等を用いて状況に合った方法を選択し、空撮では撮影出来なかった地上の死角部分はカメラで撮影して補います。

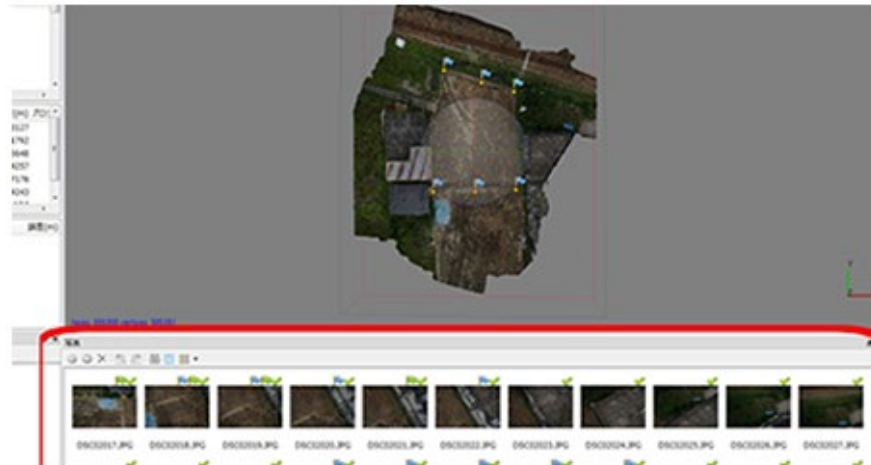
ドローンを使用する理由は、現在の空撮可能なツールの中で一番コストパフォーマンスが良く、1回のフライトでの撮影範囲も広いところです。



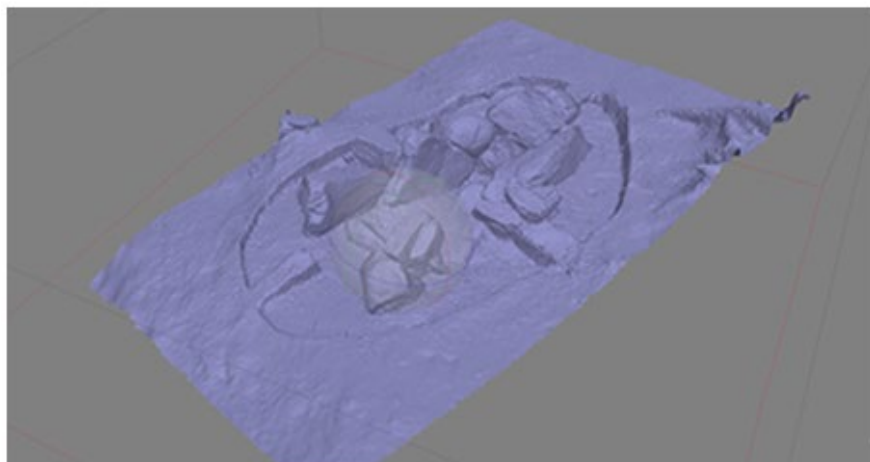
三次元モデルの作成 = matsuuraの測量技術



一枚物の写真



合成ソフトに取り込んでいる様子



オルソ（合成）写真



合成したものに写真のテクスチャを貼って完成

三次元モデルの作成 = matsuuraの測量技術



土地のご購入の際は、
お気をつけて！！



UpDate 2022年8月25日

**史跡竹田城跡遺構状況確認調査業務
2021**



UpDate 2022年8月25日

登り田遺跡発掘調査工事2021



UpDate 2022年8月25日

**姫路城城下町跡発掘調査工事等
2021**



UpDate 2022年8月25日

天川下流堤防除草委託



UpDate 2022年8月25日

兵庫県内発掘調査2021その1



UpDate 2022年8月25日

兵庫県内発掘調査2021その2

ご清聴ありがとうございました。

